






ふりがな 氏名	まつしま ゆり	都道府県	愛知県	
	松島 有理			
所属/肩書	フリーランス(プランナー・クリエイティブディレクター、イラストレーター等)			
私のESD活動	「地域の未来は地域がつくる」を実現するために、当事者意識を持って地域を動かす活動			
関心・活動のSDGs	   			

活動の概要

地方創生の実現のために、フリーランスのプランナーとして、地域の当事者意識を喚起し、外部の人間の視点でその地域の未来を考えた行政事業の企画・制作・実行をしている。

昨今、地方創生予算は「市場」「BtoG(business to Government)」とも言われ、本当に地域の未来のために使われているか疑わしい実情がある。地域の持続的な未来をつくるためには、各地域がどんな周辺変化にも未来は明るいと信じ当事者意識を持って課題をとらえ行動を起こしていく必要があるが、自治体職員の中には「ブランディング」や「プロモーション」、AI やアプリの活用などの言葉やモノに踊らされてしまい、都市の企業や大企業に多くの事業を委託してしまうことがある。それは実は、一時の話題はつくることができても、地域に根付く活動にはなりにくい。

そこで私は、事業の企画・制作・運営、イベントや広報・啓発、チラシ・WEB 等のツール制作、人事・営業管理、2つの一般社団法人の立上げ支援など、多くの経験から得たスキルとノウハウを活かし、地域の課題に当事者意識を持ち、地域に根付く地方創生のプランを提案し、実践している。例えば、道の駅での商品開発や農業塾立上げ支援、SNS での地域活動キャンペーンの展開や福祉団体の運営支援などである。

教育界に直接的関わりはないが、教職免許を持ちながら民間で働く者として、持続可能な社会のために今何が課題で、どうすべきかを常に考えながら活動している。

・長久手市地域ブランディング事業 <https://nagakute-brand.info>

・愛知介護ネット(愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会) <https://www.aichi-kaigo.org/>

今後の活動の展望と周囲や社会への還元

上場企業も零細企業も経験し、社会人 10 年目にマルチタスクなフリーランスとして活動を始めたが、現在の活動は対象地域が広範囲で業種も多彩なことが強みの一方、専門家ではないため説得力に欠ける面がある。

今後の展開としては、「持続可能な地域づくり」実現のため、自主事業を立ち上げ、組織化し、特定地域に根差し、その地域の当事者として地域づくり・未来づくりを実行したいと考えている。

教職課程を修めながらも民間の道を選んだのは、社会人経験のないまま「先生」と呼ばれる不安からだったが、振り返れば多くの国際協力やボランティア活動に携わり、民間を経験し、継続的に親子教室や人材育成等にも携わり、今では、「先を生きる者」として未来を生きる子どもたちに伝えられることがあるのではないかと思うようになった。

今後は、地域での活動を発展させ、持続可能な未来のために私にできる「教育」の在り方を追求し、実行していきたい。

また、「働き方改革」「テレワーク」「女性活躍社会」などを(なりゆきではあるが)自己で実証実験しているため、現代社会の課題を見つけ、新しい社会像や生き方の可能性を何らかの形で提示できればと考えている。